

会議録

会議名		平成 27 年度第 3 回小金井市児童館運営審議会	
事務局（担当課）		児童青少年課	
開催日時		平成 28 年 2 月 8 日（月）午前 10 時～正午	
開催場所		小金井市緑児童館	
出席者	委員	橋本会長、新井職務代理、岩重委員、佐藤委員、関委員、布目委員、中川委員、吉田委員（五十音順）	
	事務局	佐久間子ども家庭部長、伏見児童青少年課長、田中児童青少年係長、森主査（緑）、大嶋主査（本町）、山田副主査（貫井南）、木下職員（東）、前田主任、中村主事	
傍聴の可否		可	傍聴者数 1 名
会議次第	<p>1 開会 緑児童館見学</p> <p>2 議題 (1) 児童館事業について (2) その他</p> <p>3 閉会</p>		
資料	資料 1 平成 28 年度小金井市児童館事業計画 (市内 4 分館各館分、四館合同事業分) について		
主な会議内容	<p>○ 緑児童館館内見学（案内：森主査）</p> <p>○ 議題 (1) 児童館事業について 以下、各館担当者より資料の要点説明の後、各委員から行われた発言、質問と回答の要約。</p> <p>①小金井市児童館 50 周年記念事業について 四館合同事業として実施。「小金井宮地楽器ホール」を使用することを想定しているが、予算の状況次第で会場・内容の変更もありえる状況である。次回の児童館運営審議会でも方向性をご報告できる見込み（報告：森主査・田中係長）</p> <p>②（職員のスキルアップのための）研修会を審議会委員も傍聴できないか。会の内容により担当者の判断で構わないが検討してほしい。（橋本会長）</p> <p>③東中学校体育館を借用した中・高校生中心のスポーツ大会について（報告：東児童館 木下職員）→中・高校生に体験活動として企画から実施させるのはよい試みなので継続してほしい（新井職務代理・中川委員・橋本会長）</p> <p>④児童館において小学生の騒ぐ声を騒音として周辺から苦情が来ていないか。（岩重委員）→ボールの飛び込み等での苦情はあるが、</p>		

	<p>子ども達の声が騒音として苦情を言われることは、近年、ほとんどない。(回答：緑児童館 森主査)</p> <p>⑤ ほんちょう学童保育所など、学童のニーズが高まることで併設児童館の事業に影響がでていないか心配。(関委員・中川委員・布目委員)</p> <p>→ 併設施設なので、どうしても学童保育所の児童が児童館の一部を借用するような例外的な対応になる場合も出てくるので、そのあたりを解決するためにも学校の一部を借用するなど、市として対応を考えている。(回答：伏見児童青少年課長)</p> <p>⑥ 児童館を知らない新一年生の保護者を対象に、子供会などと同様に学校で説明会をやってはどうか。(中川委員・布目委員・岩重委員・佐藤委員) / 映像での「児童館の紹介」を保護者などの協力で作成してホームページに載せる、等はどうか(橋本会長)</p> <p>→ 「児童館だより」を小学校全校に毎月配布しており、児童を通じて保護者に情報は提供できていると考えている。市内四館で9つの小学校を担当しているため体制的に限界はあるが、広報の不足ということについては、今日のご意見も含めて検討したい。(緑児童館 森主査)</p> <p>(2) その他</p> <p>児童館運営審議会の保育室について、利用者がいなくても開設しているのか。(吉田委員)</p> <p>→ 2歳以上のお子さんが対象だが、傍聴者用に予約なしで利用できるよう毎回開設している。(事務局 田中)</p>
伏見青少年課長	おはようございます。
一同	おはようございます。
伏見青少年課長	<p>本日はお忙しい中をおいでいただきまして、ありがとうございます。ただ今から 27 年度第 3 回小金井市児童館運営審議会を開催いたします。本日は緑児童館を会場とさせていただいておりますので、会議に先立ちまして館内の見学をお願いしたいと思います。前回、審議会でもお話のありました改修工事の内容も含めてご説明いたしますので、よろしく願いいたします。</p>
○ 緑児童館 施設見学 (15分程度)	
橋本会長	<p>ありがとうございました。では会議を再開したいと思います。何かご質問とかある方いらっしゃいますか。気がつかれたこととか、よそとの違いとかいらっしゃいますか。岩重さん。</p>
岩重委員	<p>この部屋のガラスの傷が目立つんですが、網入りガラスなので、割れることはないと思います。衝撃を加えると危険ではないのかなと思うんですけども。</p>

緑児童館	予算の問題もありますが、なるべく早急に直します。
橋本会長	よくお気づきになりました。補修テープが張ってあるところもありますが、またお金も関係しているので、よろしく願います。ほかにはございませんか、それでは配付資料のご説明がありますか。
事務局（田中）	それでは資料の確認をさせていただきます。本日机にお配りしたものは、次第1部と「花みずき1号」でございます。事前送付資料といたしまして、平成28年度小金井市児童館事業計画、市内4館各館分と四館合同事業分、小金井市児童館運営基本方針を綴じたもの、以上を1月末に郵送いたしました。ご一読のうえ、ご持参いただきますようお願いしていたところでございますが、若干数、予備もご用意してございますので、ご入り用でしたら事務局のほうまでお申しつけください。以上でございます。
橋本会長	ありがとうございます。資料をお持ちでない方、いらっしやいませんか。ご協力ありがとうございます。 それでは議題ですが、議題の1で、「平成28年度小金井市児童館事業計画」ということで、市内4館各館分と合同事業分のご説明を事務局からいただくのですが、28年度で特に変わったところがあれば、そこを中心にご説明いただきまして、あとは委員の皆さん、これを読んでくださっているということで、そのご指摘をいただく時間に充てたいと思います。では森主査、ご説明をお願いします。
緑児童館（森）	緑児童館の森です。先ほどはありがとうございました。
橋本会長	ありがとうございました。
緑児童館（森）	四館合同事業計画の説明ということから入るということにしたいと思えます。
橋本会長	お座りになって。
緑児童館（森）	ありがとうございます。 まず、児童館の事業計画の概要を簡単に説明させていただきますと、当然ながら、児童館は市の施設ですので、児童館条例というものが基本になっております。それをもとに社会的情勢とか、国や東京都の施策を反映した上で、小金井市児童館運営基本方針というのを立てております。これについては平成18年度に策定したものが基本になっておりまして。ここ数年、大きな変更はありません。 それをもとに各館の児童館の事業計画及び四館合同の事業計画を立てています。 その中でまず、四館合同の事業計画の簡単な説明です。この計画は四館で行っている事業で同じことをやっているから合同で計画を立てた、ということではなく、四館で1人ずつ、または2人ぐらいの担当者を出して、合同で別の事業を行なう計画です。平成28年度は、昭和

	<p>41年に第1館目の本町児童館が設立して、ちょうど50周年という、児童館の節目になります。その50周年を軸に、何か事業を行う計画で、毎年秋に実施してきた児童館フェスティバルを、これまでどおり子どもたちの主体的な意見の反映や準備、運営にかかわらせ、50周年事業という形で行うということが、計画に入っております。</p> <p>場所等については、できたら「小金井宮地楽器ホール」(小金井市民交流センター)で行いたいということで今、準備を進めておりますが、新年度予算の関係で、まだはっきりしたことは申し上げられない状況です。各児童館での準備も行いますので、その様子を見に来ていただければ、と思います。</p> <p>その他は、移動児童館「わんぱく号」、夏休みの「わんぱく団」、こういった事業を例年どおり合同で行います。簡単ですが、以上です。</p>
橋本会長	<p>ありがとうございました。では四館合同のことについて、何か森先生にご質問ありますか。</p> <p>私のほうから1つよろしいですか。50周年行事には、例年やっている児童館フェスティバルを振り替える、ということだったのですが、児童館フェスティバルは子どもの主体的な参加ということで、企画からやっているかと思います。50周年行事ということで、子どもたちの係り方は、何か変わるんでしょうか。</p>
緑児童館(森)	<p>基本的なやり方は、例年どおりを踏襲して行いたいと思います。</p>
橋本会長	<p>子どもも関与しているということですね。ありがとうございます。あと、子どもの関与ということを考えると、50周年ということでちょっと歴史を感じさせるわけですが、何か歴史的な、つまり昔、過去に児童館で活躍された人たちに呼びかけるとか、そういうことはあるんですか。特にまだ分からないですか。</p>
緑児童館(森)	<p>大人の方たちということですか。</p>
橋本会長	<p>ボランティアのOBたちとかOGたちとか、あるいは職員の古い人が来るとか、そういうことはあるのでしょうか。</p>
緑児童館(森)	<p>素案の中には、そういうのもあるんですが、どれだけのことを、どういうふうにできるか、未確定な部分が多いです。</p>
橋本会長	<p>では予算次第で、その辺もあるかもしれないということですか。</p>
緑児童館(森)	<p>そうです。はい。</p>
橋本会長	<p>この事業の予算がわかるのは、いつぐらいでしたか。</p>
事務局(田中)	<p>宝くじのコミュニティー助成事業へ補助金申請を予定しており、4月末にその結果が判明する見込みです。その状況次第によって、市単独の予算の範囲で行うのか、助成も使ったより大きい規模のものにするのか、という判断をさせていただきます。市の予算として確定するのは恐らく6月か9月、補正予算での対応になる見込みです。</p>

橋本会長	分かりました。では来年度第1回会議のときには、あらあら方向性が明らかになっているということだろうと思います。皆さま、ほかに何かあれば、どうでしょうか。関委員。
関委員	四館合同の2の(1)、午後5時30分までの開館時間延長、に東児童館が入っていないですけど、どうしてですか。
橋本会長	どうしてですか。2番の(1)に東児童館が入っていないというのは、もともと？ 森先生お願いします。
緑児童館(森)	東児童館は委託時に開館時間を通年6時まで、としております。直営館は午後5時30分までの開館延長を、期間を設けて行なっています。よって東児童館が入っていないわけです。
関委員	分かりました。
橋本会長	ありがとうございました。あと4番の(2)に「職員のスキルアップのための研修会を実施」とありますが、これは委員にご案内をいただける性質のものではないんですよね。例えば講演を聞くとかいうところだったら、職員だけでなく委員の皆さんも同席したら勉強になると思ったんですが、そういうものではない？ ご担当のご判断で結構ですが、もしも我々にも勉強させてやれということになりましたら、有用で、お金がかからないようでしたら、聞きたいなと思いました。ご案内いただくのはいいかと思います。ほかに。どうぞ、新井職務代理。
新井職務代理	既に事務局の方は分かってらっしゃるかな、去年のものとレイアウトを変えたので項目の番号がずれていますね。
緑児童館(森)	番号が、(3)が(4)になっていました。すみません。
橋本会長	では、ほかにないようでしたら、各館の事業計画、特に力を入れていること、今年特に変えたというところがあれば、そこを中心にご説明いただきたいと思います。では本町児童館から、大嶋先生お願いします。
本町児童館(大嶋)	本町児童館、大嶋と申します。よろしく願いいたします。1番の「乳幼児と保護者に対する事業」で、(4)の「父親の子育てを支援するための事業」、今年度、月1回、「子育てひろば」で実施してきましたけれども、父親向けの行事として実施したほうが、多くの方が参加できるかもしれないので、試行錯誤しながら、行事のような形の実施の検討をしていきたい、と思っております。
橋本会長	行事と言うと、具体的に名前が出ていますか。
本町児童館(大嶋)	今回はひろばスタッフと職員で、運営しているのですが、一昨年は、ベビーマッサージですとか、リズム遊びとか、そういった講師の先生をお願いして、行事のような形で参加を募集しました。そのような幅を広げた形の実施もしていきたい、と思っております。
橋本会長	ありがとうございました。皆様から何かご質問ありますでしょうか。

新井職務代理	よろしいでしょうか。新井です。1 番の (7) 「OB 会の支援」というのは今年初めて入ったと思うんですけども、OB 会の支援ということは、スタッフのほうが OB 会を何かこう、育成するように見えるんですけど、どんなことをやられるつもりでいらっしゃるのでしょうか。
本町児童館 (大嶋)	幼児グループが終わりまして、3 歳児になり幼稚園に進む方が多いのですけれども、別々の幼稚園に行ってしまう親子が多いので、年何回かみんなで集まって、交流会をしているグループもあるので、そういったことをいろいろ援助したり、会を盛り上げるためにサポートしていければ、と思っています。なかなか、幼稚園に入れば、幼稚園で忙しくて積極的に集まれるグループが少ないものですから、学期に 1 回とか、そういった形で継続して、友達関係を続けていくようにサポートできたらと思っています。幼稚園に 3 年間行って小学校 1 年生になったときに、児童館にグループ活動で遊びに来て、利用しやすいように、その期間も途切れないよう、児童館を使うことができるようにしていきたいと思います。
新井職務代理	じゃあ、児童館のほうから、こういうことやりますよという、何か投げかけをしてあげるといった感じでしょうか。こうやるから皆さん集まってください、みたいな形で。
本町児童館 (大嶋)	(7) の「わんぱくキッズあつまれ」で、行事としては OB や幼稚園に行っているメンバー対象の行事を実施しています。それを勧めることも含めてやっていければ、と思っています。
新井職務代理	OB 会の支援というと、何かこう、OB 会を育てるようなイメージを持つのですが、集まってくれるだけじゃなくて。それで、そのところに何か仕掛けを入れて、その人たちが何か盛り上がるような場を設定するというようなイメージと受け取ったのですが。
本町児童館 (大嶋)	いろいろ取り組みの中で、やれるように考えていきたいと思っています。
新井職務代理	ぜひそういう形で、盛り上げていただければと思います。
橋本会長	ありがとうございます。ほかに何かありますか。ではその先へ行きたいと思っています。OB 支援は気がつかなかったです。それじゃあ次は東児童館、木下先生。
東児童館	東児童館、木下です。よろしくお願いいたします。
橋本会長	よろしくお願いいたします。
東児童館 (木下)	27 年度から 28 年度、大きく変わっていることは特にありません。より、それぞれのものを充実させていくとか、あるいは中・高生ももう少し育てて、参画をさせて、ただ参加するところじゃなく、より具体的に、いろいろ我々のほうも作戦を実行していったほうがいいかなと思ひまして、「参画」という言葉を足しました。そういう程度に言葉の入替はさせていただいていますけど、目指しているところは、内

	容的には大きな変更はありません。
橋本会長	ありがとうございます。今の東児童館さんの説明、資料等について、何かご質問がありますでしょうか。新井職務代理。
新井職務代理	今年はじっくりと読ませていただいたものですから。去年と比べまして、3の中・高生に対しての(2)ですか。「参加する立場」から「参画する立場」のステップアップを目指します。この辺のニュアンスはというふうに。
東児童館(木下)	実際、27年度も児童館を出て、さまざまな体験をする中で、考え、企画する力を育てていく、というふううたっているのですが、はっきり分かりやすい言葉で参画をし、彼らがもう少し意識を持って、我々とやる中で、少し自分たちの力を育てていくことを、出来たらいいかなと思って、ちょっと言葉を変えました。去年も実はそういうふう書いてあるのですが、事情が許されないこともあり出来ないところがありました。我々のほうも、もう少しいろいろな企画をしようということです。
新井職務代理	なるほど。君たちも主役だよと言いたいようなニュアンス。動機づけをしようという感じですかね。
東児童館(木下)	はい。しようと思っています。
新井職務代理	なかなか難しいですけど、子どもたちが自覚を持ってくれるといいですね。
東児童館(木下)	はい。とっても大事なことだと思っています。
橋本会長	具体的に、こっちは参加でこっちは参画だという、何か違いみたいなものが見えるものはありますか。
東児童館(木下)	2月13日土曜日に、東中学校をお借りして、東児童館を利用している中・高校生を中心に、スポーツ大会を初めて企画しています。ちょうどこの時期、学童保育ではドッジボール大会をやっていますが、寒い雪の季節ではありますが、とにかく1回、中・高校生が軸になって、競技から段取りまで、企画をして、試させようと思っている途中です。それを終えて、いろいろな反省も生まれてくるかと思うので、それに対して、より具体的な参画が、28年度に向けて、新しい動きなり考え方として、中・高校生の間でもう少し盛り上がってくれるといいなと思っていますところなんです。
新井職務代理	皆さんもやっていっちゃると思いますけれど、役割分担を彼らに持たせる、というのが大事だと思うんですね。だから、あなたはこれをやって、あなたはこれをやってみたいに、彼らに、一つ一つに責任を持たせて、そして終わったら、よくやったねと。それが一番いいと思うんですけどね。
東児童館(木下)	おっしゃるとおり、各チームの競技のリーダーを決めたり、それから

	<p>ルールを決めたり。3 時間、東中を借りていますが、道具を出したり片づけたりというと、正味、それほど長い時間ではないので、1 競技の時間も短めにして、分かりやすいルールで。当日来た子も参加できるような、そういうコーナーや担当者も用意して、彼らがそれぞれの部分で責任を持って主役をやっていく。その中で自分が悩みながら、その場で解決していく力も経験をさせていければ、と思っています。</p>
新井職務代理	<p>大賛成です。会社でやっているときも、よく成功事例、成功事例とやってたんで、成功事例なんてのは、何も身につかないと言ったんですね。失敗事例が一番身につく、といつも言ってるんですけど、ぜひ苦労することをやらせたほうがいいと思いますね。</p>
東児童館（木下）	<p>はい。ありがとうございます。</p>
橋本会長	<p>なかなか素敵ですね。はい、中川さん。</p>
中川委員	<p>中川です。スポーツ大会のほうの企画に携わる子どもたちは、どれくらいの人数ですか。</p>
東児童館（木下）	<p>中・高校生が十数名、多いときで 20 名くらいいます。その子たちは毎週水曜日に東児童館に集まりますが、もうここ数回はおやつを食べながら、どういう競技にしていく、あるいはリーダーを誰にする。本人たちも、やりたい競技とやりたくない競技があるんですね。じゃあやりたくない子は審判長とか、リーダーをやりなさい、とか。一番最後にリレーをして、全体が参加できるような、というのを彼らが考えてやっていますね。</p>
中川委員	<p>じゃあ、その人数の子たちが大体中心となって、あとはお手伝いみたいな形で入れ替わりですか。</p>
東児童館（木下）	<p>そうです。声をかけて。当日も受け付けをしますので、どのくらい集まってくれるかを期待しているんですけど、まあ、とにかく 1 回、少人数でも東中を初めてお借りしてやってみようというところです。ですから失敗もきつとあって、いろいろなところで進まなかったり、十分あるかと思うんですけども、それも勉強と思っているところです。</p>
中川委員	<p>そうですね。逆にほかの中学の子たちも、そういうのを聞いて何か刺激になるといいと思いました。ありがとうございます。</p>
吉田委員	<p>ちょっとお伺いしていいですか。水曜日の 8 時までというのは、子どもたちは 1 回帰るんですか。中学生というのは恐らく、一斉下校は 6 時半だと思うんですけども。部活が終わっていたとしても。その学校の帰りに寄るんですか。</p>
東児童館	<p>クラブ活動や塾、習い事、いろいろしているので、6 時前後にぞろぞろ集まり、あるいは途中で「すみません、今から塾です」と言って、7 時半ごろに抜ける子もいたり、です。主に 6 時前ころには集まっています。</p>

吉田委員	おやつというのは、東児童館が提供するんですか。
東児童館	いろいろな催し物もやっているのですが、ほんの少しずつですけど残り物があったりします。それから職員がそれぞれお菓子を持ってきたり、子どもたちも自分たちで持ってきて、それでお湯をわかしてお茶を飲んだり、紅茶を飲んだり、そういうふうにしています。
吉田委員	ありがとうございます。そのスポーツ大会は、今、事前に申し込みも必要だというふうに書いてあるんですけど、今、申し込みありますか？
東児童館（木下）	事前申し込みいただいたほうが、我々も把握できるので助かるんですけども、当日受付もしていますので、これまで全然出会ったことのない中・高校生も、東中に来てくれることを期待しています。 今のところ問い合わせは、主には東児童館で活動しているメンバーですが、ほかの児童館から数名は、あ、行こうかなと言ってくれてますよ、という話も私たちのほうには届いています。
吉田委員	ありがとうございました。
橋本会長	ありがとうございます。そのほか何かありますか。よろしいですか。どうぞ関さん。
関委員	東児童館のこのチラシ、スポーツ大会となっておりますが、1時から6時までと書いてあったので、随分長いなと思ったんですけども、4時まででなんですね。
東児童館	はい。体育館を借りているのが4時で、その後、片づけ終わって出た後、寒いし、せっかくみんなが集まったので、東児童館に集まってきた、みんなでお茶でも飲んで、まあ、許せる限りなんですけど、6時に解散としようかなと。
関委員	開催は6時まで、ではないんですね。スタッフが十数名で、場所が2カ所で、長時間というのが、まあ、やってみないと分からないでしょうけども。
橋本会長	確かに大変ですね。まあ、それは児童館に帰ってきてから、というお話ですね。最後に。
東児童館（木下）	児童館でそんなに大した準備はできないので、僕がその日、留守番なんですけども、もう一人のスタッフと一緒にお茶の用意ぐらいしようかと思っています。
関委員	ほとんどは東中体育館でやられるんですね。
東児童館（木下）	競技は全て東中です。東中の方に挨拶をした後、児童館に戻ってきて、みんなでお茶を飲んで解散。そんな感じで考えています。
橋本会長	ありがとうございました。それでは、また後、何かありましたら、先ほどの本町児童館へのご質問も、後からでもオーケーですので、お持ちでしたら質問してください。木下先生、ありがとうございました。次は貫井南児童館、山田先生からご説明お願いできますか。

貫井南児童館（山田）	<p>貫井南児童館の山田です。よろしくお願ひします。</p> <p>貫井南児童館は、本町館と同様に、大きな変更はございませぬ。ちょっと今年度の様子をお話ししますと、1番の乳幼児の中で、(5)番の幼児グループですが、2歳児以上として週2回行いますとありますけれども、今、ちょうど2歳児を対象にしたプレ幼稚園というのが地域では盛んに行われていまして、結果、児童館に2歳児がとっても少なくなっています。それで週2回のうちの1つは20組ぐらい、いますけれども、1つはもう、今8組ぐらいの状況です。ちょっと職員の間でも、この状況をどうしようかという相談をしたんですけども、とりあえず来年度も同じようにやっていこうと思っています。</p> <p>2番の小学生に対する事業は、これも特に大きな変更はございませぬ。ただ、今は自由来館で、低学年の利用も増えていますので、そういった子たちを対象に少し、事業というものではないんですけども、低学年のところで少し行事を行っていきたくと思っています。</p> <p>3番の中・高校生世代に対しての施策ですけども、これも特に変更ございませぬ。今年度は課題として、バンドスタジオが貫井南児童館にはございますが、高校生ぐらいの子たちの利用があまり伸びませんでした。一方、中学生は、バンドスタジオの利用はあまりないのですが、利用人数は増えています。それでスタジオをバンドではなく、中でおしゃべりしたりとか、ゲームをやったりとか、中・高校生の居場所として活用しています。</p> <p>4番の相談事業及び子どもの問題。これも特には変更ございませぬ。保護者の方たちと連携しながら個々に進めていきたくと思っています。</p> <p>5番は、子どもや利用者を守るための取組です。これにつきましても、従前と同じようにやっていきたくと思います。ただ、防災訓練は、周辺自治会や自主防災会との合同訓練を今まで年2回やっていたんですけども、自治会と防災会の希望で年1回にして、公民館と児童館との合同訓練を年2回ということにして、来年度はやっていく予定です。以上です。</p>
橋本会長	ありがとうございます。ご質問ありますでしょうか。新井さん。
新井職務代理	1の乳幼児のところの(1)で、「以下のとおり」、子育てひろばの事業を実施しますってなっているけれど、これミスプリだね。去年は(1)の中が①②③になっていたのだから「以下」があったけれど、全部繰り上がっちゃっているから「以下」がなくなっちゃっている。
貫井南児童館（山田）	はい。すみませぬ。
橋本会長	要するに(1)から(3)までは、子育てひろば関係の項目ですか。

新井職務代理	去年の「以下」の項目なんだよね。
橋本会長	「以下のとおり」というのをあまり意識しないで理解しておきましょうか。はい、何かありますか。
緑児童館（森）	すみません。貫井南児童館の文書については、こちらも校正したのですが、確かに「以下のとおり」という表現は昨年度の消し忘れです。マルではなくかっこにしたのは、これを1つ上げた形で、重点的な目標ということに変更したので、昨年度と違い同列にしたという経緯があります。
橋本会長	やっぱり去年と比べると、なかなか違いが見えて、さっきのご質問もそうでしたが、ありがたいですが、ほかにも何かありますか。
吉田委員	お伺いしていいですか。1番の(5)のところで、先ほどプレ幼稚園のお話を伺ったんですけども、私が育児をしていたころはなかったんですけど、それは親子で幼稚園に行って、親子で何か参加するものなのか、要はお預かりというんですか、幼稚園に預けて保護者は見ているという、児童館とまた違う形になると思うんですけど、それはどういうふうな形かご存じですか。
橋本会長	お願いします。
貫井南児童館（山田）	私も実際に幼稚園に行って様子を見たことはないのですが、親御さんから聞くだけのお話なんですけれども、一定の時間、幼稚園にお子さんを預けて活動するという形です。
吉田委員	一時預かり的な感じなんですね。
貫井南児童館（山田）	ちょっとそこまではわかりませんが、一応お子さんとは離れて、お子さんだけ行く形。
吉田委員	それはまあ、ご存じないと思いますので、その幼稚園のそれを経験すると、優先的に入れるとか、そんなことがあるんですかね。そんなに今、幼稚園に殺到しているかどうかはちょっとわかりませんが、すっかり中央線の北側の幼稚園はなくなったので、あっちこっちに行かなきゃ逆にいけなくなったので、そんなに殺到するというイメージがないんですけども、そういう優先的などという感じではないんですね、きっと。
橋本会長	幼稚園入園と関わっているかどうかということですね。
吉田委員	そうですね。それはまた。
橋本会長	そういうことがあるんですか。どうでしょう。
貫井南児童館（山田）	幼稚園のことはよく分からないんですけども、近隣の幼稚園でプレ幼稚園をやっていることを聞いて、不安になったお母さん方はそこに、まず入って、ならして、という形で幼稚園に上がるようです。
吉田委員	そうですね。私が今の時代にしていたら、多分そうだと思います。ありがとうございました。

中川委員	今の質問ですけど、保護者の声でよく聞くのが、やっぱりいろいろな幼稚園を見学して、いろいろ幼稚園をお母様たちが知るために、そういうところを利用するというのも聞いたことがあります。
橋本会長	そんなにたくさん幼稚園があるんですね。ほかに何か。貫井南児童館の事業計画についての質問は。1つ私、思ったことがあったのですが、最後の(2)で、防災訓練というのをおっしゃいましたけど、合同訓練という場合に、児童館側に関わるのは職員さんだけなのか、それともボランティアさんとか、利用している中学生、高校生なんか関わってくるのか、どういうイメージなのかなど、ちょっとふと思ったんですが、どうなんですか。
貫井南児童館(山田)	合同避難訓練に関わるのは、基本的に職員ですけれども、総合的に利用者全員が、避難訓練等、いろいろな訓練に関わってもらうようにしています。また毎月お手伝いしたりもしますので、そういったことで、自由来館の子たちも参加できることになっています。子供会とも一緒に訓練していますので、そういった子供会に関わる子たちは、親御さんと一緒に来ています。
橋本会長	ありがとうございます。佐藤先生、駆けつけてくださりましてどうもありがとうございます。
佐藤委員	いえいえ、済みません。申しわけないです。
橋本会長	とんでもない。今はもう東児童館、貫井南児童館の説明が終わって、質疑が終わったところです。それじゃあ次に緑児童館の事業計画について、特に変更があったところを強調してもらってご説明いただいてもいいでしょうか。
緑児童館	<p>緑児童館の事業計画です。緑児童館はありとあらゆる事業に対して、地域の人たちを巻き込んでいくのが大きな特徴です。ただこれは、緑児童館だけでなく、全児童館が目指すところではあるのですが、それについては、緑児童館については、その辺が第一の特徴にあげられるだけの結果を生んできたということでもあります。</p> <p>巻き込んでいく、というのは、利用者、保護者側にも自分たちや子どもたちのために、こんなことがしたい、という希望や重いがあって成り立ちます。つまり利害の一致とっては語弊がありますが、こういう事業作りをしていきたい児童館側と、利用者のニーズが重ならなければならないのです。ただ、最近、利用者側の要望が大分変わってきているのではないかなと感じています。ご協力いただいている保護者の方たちとか利用者の方たち、あるいはボランティアの学生というのはそれなりにいるのですが、結果として、新しい利用者、保護者の世代が続かなくなっています。今、子育て真っただ中のお母さんたちが、児童館の活動の中で関係を築き、そういうふうになっていくというの</p>

が1つの目標なのですが、なかなかそこまでになってくれないというのがあります。

ですから今、本当に行事を行うために、いろいろな人に声をかけて、ボランティアに来てほしいというのは言っているのですが、何となくこちらの要望が一方通行になってきているのが課題としてあります。ですが、重要な部分なので、来年度も計画として組み入れていきます。

それに関係するのですが、今一番、児童館の中で抜けている世代が幼稚園世代と言われている、子どもの年齢で言うと5歳、6歳の子たちと、その保護者です。幼児グループが、貫井南児童館が減ってきたという話がありましたけれども、従来、2歳時グループ、それから、その1つ上の3歳児グループを経て幼稚園へ行くという流れを作ってきましたが、最近は緑児童館に限らず、幼稚園の年少組からの入園が一般化し、3歳児グループのほうがり立たなくなったので、今は2歳児グループ1つになっています。1年間の各種の活動が何となく終わって、その後、緑児童館の周辺には幼稚園が地域にないこともあって、みんなばらばら、いろいろなところに行ってしまうので、なかなかそこでつながっていきづらくなっています。さらに地域に帰ってきた幼稚園の子どもたちが大声で自由に遊べる場所も少なく、さらに今の児童館も小学生との関係で、機会や場所の提供が出来づらくなっています。なので、来年度取って緑児童館でそれを作っていこうと考えています。幼児グループOBや近隣の人に情報を発信しながら、まだ具体的な行事が明確になっていませんが、東児童館もやっているの、同様の場を作っていきたいと思います。

あともう一つ、今は自由来館の小学生が結構いまして、昔の緑児童館は、どちらかというと行事とか、そっちのほうのニーズが多かったのですが、今は遊びに来る常連の子どもたちが目立つというのがすごく大きな特徴なので、自由来館児の対応も大きな仕事です。今は5~6年生がほとんどですが、そういう子どもたちがここで遊ぶということが毎日あるということは、我々にとっては、彼らの居場所ということで位置づけているのですが、一般の保護者の方々からは、ちょっと、うちの子たちが、それで入りづらくなっている、という意見ももらっています。特に低学年の女の子をお持ちのお母さんたちは、児童館は大きな子どもたちばかりで、ちょっとうちの子が嫌がっている、ということを言われるときがあります。それはそれで、受け取ることは受け取るのですが、ただ、逆に言うと、やっぱりわんぱくな子どもたちが、大きな声を上げて走り回ったり、好きなことをできる場というのは、児童館以外になかなかないと思います。

児童館が改修工事のために休館になったとき、いろいろご意見をいた

	<p>だきましたが、そういう子どもたちの行き場として、児童館が成り立っているということの、1つのあらわれなのかなと伺えます。なので、そういう子どもたちを守っていくのも私たちの仕事かなと思っていますので、いろいろ叱りつつも受け入れていくことと、周囲の理解を得られるようにしていきます。</p>
橋本会長	<p>ありがとうございます。何かご質問は。岩重さんどうぞ。</p>
岩重委員	<p>今言っていた、やっぱり騒がしいという問題ですけれども、近隣の方から、多分騒音という意味で、子どもたちの声がうるさいとか、そういうような苦情というのは、結構あるものなんでしょうか。</p>
橋本会長	<p>騒音というのは、どこからですか。</p>
岩重委員	<p>児童館で、今はまだ小さい子しかいないので、そんなに大きな声で、外で走り回ったり、中でバタバタということがないので、そんなに気にならないと思うんですけれども、小学生になるとやっぱり人数も増えて、大きさも大きくなるので、大騒ぎをするということもあると思うんですけれども。</p>
橋本会長	<p>小学生のことですね。ご質問は。</p>
岩重委員	<p>そのときにどのような対応されているか。</p>
緑児童館（森）	<p>小学生の声等が騒音とされることは、最近はないです。庭でボールを投げている、それが飛び込んで怒られたというのはありますけれど、声がうるさくて怒られたというのは、児童館については特にはないです。</p>
岩重委員	<p>ありがとうございます。ほかの児童館でも同様でしょうか。騒がしいとか、そういうようなことというのは、あまりないものなんでしょうか。</p>
本町児童館（大嶋）	<p>本町児童館は庭が狭いので、隣の上の原公園を使って子どもたちが遊んでいまして、児童館の子どもと、2階の併設の学童保育所の子どもたちが、一緒に上の原公園を使って遊んでいるんですけれども、どうしても木が多かったり、砂場がかなりのスペースを占めていまして、子どもも、幼稚園の帰りの幼児とか、まだ幼稚園へ入る前の幼児がすごく多くて、それで小学生と一緒にスペースで遊ぶと、ボールも禁止ですし、小学生が発散し切れなくて、ちょっと小学生が学校から帰ってくる夕方ぐらいが、幼児の親御さんの間では、ちょっと危ないねという感じで見られます。ただ、なるべく幼児に危なくないように、学童保育の職員も間に入りまして、気をつけています。</p>
岩重委員	<p>ありがとうございます。</p>
橋本会長	<p>ほかに何かご質問は。お願いします。</p>
吉田委員	<p>幼稚園世代の居場所づくり、ということですがけれども、私が街を歩いていてとてもすごく感じるのは、やっぱり近隣に幼稚園がなくなってしまったので、いわゆるバスで通園しているという。緑児童館付近は</p>

	<p>そうですけれども、そうすると、お母さん方の交流の場というのがバス停なんですね。幼稚園の。送るときは非常に難しい。でも送った後でも何人か必ず立ってしゃべっていらっしやる。</p> <p>迎えに来るときもそこで、決まった人しか交流することはないんですけども、そこで結局、お母さん方と子どもたちが遊んでいて、それは、そこいらでもたしかバス停もありましたし、グリーンタウンの奥にもありまして、幾つかの箇所があって、そこが本当に今、残念ながら憩いの場になって、それは雨だったらかわいそうだなとも思うし、そこら辺で、子どもは花を摘みながら、お母さんたちが一生懸命情報交換をしているという姿がすごく多々見られるんですね。</p> <p>もしかしたら、そこからスーッと緑児童館に行けるような仕組みがあればいいのかなというふうに、ちょっと思いますね。どうしても上の子が帰ってきちゃうわ、みたいなことも多分あるとは思いますが、でも、本当に今、青空情報交換になってしまっているの、あとは森先生のおっしゃったような、定期的にやっぱり幼稚園世代を受け入れられるような定例会みたいなのがあれば、多分、来やすいと思いますね。幼稚園でどうしてもばらばらになってしまうので。</p>
橋本会長	<p>今のビジネスチャンスを探る情報だなというふう感じたんですけども、最後に言われた、定期的に幼児の世代を受け入れる定例会みたいなものというのは、ありましたか。定期的に幼児のグループを受け入れる会というようなイメージでしょうか、吉田さんがおっしゃったのは。</p>
吉田委員	<p>そうです。それは特に今はないですよ。今年度それを考えていく、みたいなことで、幼稚園世代の、要は幼児グループを卒業した、幼稚園に行ってしまった世代の居場所づくりという、1番の(6)というところ。</p>
橋本会長	<p>幼稚園世代の居場所づくり。</p>
吉田委員	<p>それは例えば、幼稚園に行ってしまった人が、また児童館に戻ってくるような何か会を、児童館からの発信で何かするということですか。</p>
緑児童館	<p>はい、そうです。今のご質問に対して、そういうイメージで行う予定でいます。</p>
橋本会長	<p>予定で。なるほど、分かりました。今の一番最後のところばかり引っかかって申しわけないんですけども、大嶋先生がご紹介してくださった、小学生になるまでのつなぎの事業というということですか。それと吉田さんが言われた、送り迎えのときのお母さんたちが集まって情報交換しているというのは、まさに児童館へのニーズと重なるわけなんですけれども、ほかの委員の方は何かそれについてお考えとか知恵はありますか。</p>

新井職務代理	ちょっといいですか。
橋本会長	はい。
新井職務代理	先ほどのバス停のお話しだと、お母さんたちの情報交換で、子どもを遊ばせるのが目的じゃないみたいなんですよね。 お母さんたちがそこでお茶飲みながら。そうじゃなければファミレスか何かでも行っちゃっているところなんだけど、何かそういうところで、逆に言えば、こういう児童館で、子どもを遊ばせるんだったらいいんだけど、お母さんたちが団体で来てペチャクチャやっているんじゃ、これが児童館の本当の目的なのかなって。広い範囲で考えると、そうかなとは思うんだけど、それは児童館の本当に役割だろうか、という気もするんですね。ちょっと。男の立場としてね。
橋本会長	児童館につなげるためには、どういうふうに言い換えたらいいんですか。もう一回、吉田さんの言葉で言っていただくと。児童館が……。
吉田委員	幼稚園世代の子は、基本的には子どもだけでは来ないので、幼児なので、親子同伴で来るので、親子同伴で児童館に足を運ぶことによって、そこでだから、別に親だけがここに来るわけではないので。幼児の場合はですね。
橋本会長	だとしたら送り出した後じゃなくて、子どもを迎えて、子どもの……。
吉田委員	もちろんそうです。イメージは子どものお迎えの後です。
橋本会長	回収時に、そのまま児童館に来る仕掛けがないか、ということですね。
吉田委員	そういうものがあつたらいいなというふうに。全く具体的にはないです。
橋本会長	それだったら児童館の趣旨にも合うことなので。
吉田委員	そうすると恐らく、子どもが小学校に入っても、自ら来られるようなところにもなるし、親がボランティアで関わっていこうというのは、どうしてもやっぱり、たった1人では非常に行きにくいので、何かつながりがあつて、こんなのあるよ、どう？ と言われたときに初めて関わってこれるので、そういうきっかけの1つになるといいなと思います。
橋本会長	これは特に緑児童館だけの問題ではないので、全体への質問ということでやっていますが、児童館の前で送り迎えとかいうのは、できないんですか。
本町児童館（大嶋）	本町児童館の建物の前の道路は、1つか2つの幼稚園のお迎えバス停になっているようです。上の原公園の前にも集まっていますので、児童館では、そこにいるお母さんたちに児童館の行事のお誘いをしたりしています。あとは、1の乳幼児と保護者のところの(2)なんですけれども、本町児童館の場合は、乳幼児優先室として、幼児が来たときにすぐ遊べる部屋を2階に用意しているので、そのまま幼稚園の後や、

	お迎えに行った後などに、児童館でくつろいでいく子たちもいます。そういったスペースが用意してあると、寒い日とか暑い日も、遊んでいけるので、そういった取り組みを、本町は行っています。
橋本会長	既に行っているんですね。それは昔からですか。バスは停留所とか、送り迎えするスポットですね。
本町児童館（大嶋）	はい。
橋本会長	ほかの児童館さんでは、近くに送り迎えスポットがあるとか、あるいはそれを誘致するとか、そういうことはどうなのでしょう。まあ、ご検討いただければということにさせていただきます。ありがとうございます。 ほかに何かご質問。これはもう緑児童館に限らず全体的にとということでもいいかと思います。いかがでしょうか。新たに気がついたことということでも結構です。関委員、お願いします。
関委員	本町児童館について、ほんちょう学童のことが言われていましたけれども、今、どこも学童は人数が多くなっていると思うんです。児童館のほうに迷惑がかかっているとか、そういったことはないんでしょうか。学童の方が定員を超えていますので、どうかと。
橋本会長	併設施設では、児童館はどうなっているかということですね。伏見課長お願いします。
伏見児童青少年課長	今、おっしゃられることは私どもも懸念しております、28年度につきましては、ほんちょう学童については60人定員のところに90人弱の予定になっておりますので、来年度1年間に限り、本町小学校のランチルームをお借りすることができましたので、28年度につきましては、今までのほんちょう学童と、本町小学校のランチルーム、2カ所で、ほんちょう学童については運営していくということになっております。 その先につきましてはまだ決定しておりませんが、先ほどおっしゃられたとおり、今、併設施設ということで、学童の児童がどうしても児童館の一部を借用してというような、併設施設の例外的なものがありますので、その辺を解決するために、市としても何らかの対応ということを考えているというような状況でございます。
橋本会長	ありがとうございます。関委員はよろしいですか。
関委員	ランチルームを借りるということは、ランチルームだけの活動なんですか。校庭も使ってということなんですか。
伏見青少年課長	とりあえずランチルームを、学童としてお借りすることはできました。それで校庭につきましては、学校の授業等が影響してくると思いますので、その辺、学校の授業の影響のない範囲でお借りすることができるのかなというふうに考えております。

関委員	そのまま上の原公園に流れて遊ぶ、ということにはならないんですね。
伏見青少年課長	上の原公園に流れるのか学校の校庭で遊ぶのか、いうところは、現場で適宜判断しながらやっていただくような形になるかと思います。
関委員	上の原公園は狭いので、本町小から流れてきてもらったら、ちょっと困るかなとは思うんですけども。
橋本会長	中川委員。
中川委員	私も本町小に子どもが通ってしまして、児童館のほうも子どもが利用しているので、やっぱり何かといろいろ、保護者の声というものが、私のほうにも入ってきまして、やはり学童の人数が多いことによって、児童館の子どもとの間のトラブルとかもある、という話も聞いていますし、来年度、2カ所に場所に行くということに、すごくやっぱり保護者の方が不安を感じていて、帰宅する班とか、そういう形はどうなるかとか、そういう不安の声もあったりして、来年度だけ、1年間、期間限定ということなので、それをすごく心配されていて、やっぱり子どもたちが安心して、親も預けられる場所ということで、すごく不安の声をみんな上げてらっしゃるので、何とかうまくやっていただきたいなと思っているんですね。できれば学校の近く、学校の中でできるのであれば一番いいんですけど、という声もありました。
橋本会長	今、おっしゃってくださった声というのは、学童保育の親の声も入っているんですか。
中川委員	入っていますね。学童保育の方でも児童館の方で遊んでいて、何かとゲームのことでトラブルがあったり、やっぱり人数が多いので、ごちゃまぜになるというか、児童館の施設は狭いので、その中でいろいろと子ども同士のトラブルがあるというので、やっぱりその部分で、児童館に通わせているお母さんとしても、どうなのかなという声もあります。両方の声ですね。
橋本会長	両方の、それぞれの不安やトラブルが。
中川委員	そうです。
橋本会長	なるほど。ほかにもそういうお話は皆さんお聞きでしょうか。布目委員、何か聞かれたりというようなことはありませんか。
布目委員	今、本町小学校というのは、子どもさんが1学年は何クラスぐらい。
中川委員	その学年にばらつきがあるんですよ。1年生は3クラスあります。やっぱり今は、共働きの方がほとんどなので、子どもの数云々関係なくて共働きという方がすごく増えてきているので、学童の利用が多いです。
布目委員	学童のニーズが、すごく高くなっている、ということですか。
中川委員	そうだと思います。
布目委員	ありがとうございます。

橋本会長	それでは佐藤先生。中学生、高校生に関わることでは、東児童館のドッジボールも先ほど出ましたが。
佐藤委員	うちのほうでも、定期的に児童館に行って、夏休みとかは世話をする方なのだと思います。ほぼ固定している子とは思んですけど。
東児童館（木下）	はい。メンバーは固定してきています。
佐藤委員	そうですね、ボランティアをしているという子もいると聞いています。あとは夏休みの体験ボランティアで伺ったりしている子もいると聞いております。そういう意味では、子どもたちが高校生や大学生になっても、また戻ってきてというふうに、ボランティアとして活動ができるようになるのかな、というふうに思ったりもします。必ずしもみんながみんな、それができるとは思いませんけれども、地域に関われるというのは、とてもいいことだと思います。
橋本会長	私もだんだん先行きが心細くなってくると、若い中学生、高校生を見ると、いざというときにはこの子らに助けてもらわないといけないのかな、なんていうことを、本当にこのごろ街を歩いていると思うことが多くて、ですね、だから中学校には、ちゃんと地域とのつながりをつけてくださいよ、というふうに心で祈っていますし、児童館には、そこをつなぐことをしていただきたいなと思っていますので、個人的にも、また委員としても、中学生、高校生を児童館がしっかり握ってくださって、学校との連携を取ってくださるといいな、と思っております。一般的な意見にしかありませんが。
新井職務代理	佐藤先生、中学生には、いわゆるボランティアポイントって。
佐藤委員	ありますね。
新井委員	最近よく、女の子の子育ての問題で、若いときから小さい子に接していると、大きくなったときに子育てがうまくいくという話が。
佐藤委員	そうですね。
橋本会長	男の子はないんですか。
新井委員	男の子もあると思いますよ。
佐藤委員	家庭科の時間に保育というのを中学生でやっておりますので、そんなに時間は取れないと思うんですけども、土台にして、東児童館でやっている「赤ちゃんとあそぼう」、というような、中学生、高校生がボランティアで入ってお世話するみたいなものもありますよね。そういうのは、うちの生徒じゃなくても、やっぱり女子が多いんでしょうか。
東児童館（木下）	そうですね。
佐藤委員	男子もオーケーでしょうけれど、なかなかね。そういうのを……。
新井職務代理	お母さんたちがいいですよと言えば、どんどん入ってってもらえば。
佐藤委員	男子がそういうのに行ってくれるといいですけどね。
新井職務代理	命という考え方とか、そういうところで、ものすごく広く人間性を

	育てられる場所でもあるのかな、と思うんですけどね。
佐藤委員	そうですね。先日、1月の日中は職場体験を3日間、2年生がやったんですけども、保育園とか幼稚園に男子も行っていますので、そういう意味では、そういう場も提供していただいて、児童館に限らず、職場体験ということで、幼稚園や保育園含めて関わっていただいているので、そういう意味で地域にお世話になっていると思います。
新井職務代理	ですね。ぜひ学校のほうもそうやって、そういうところがあるよと言って、いいよと言って。
佐藤委員	それは必ず、指導していますので。
新井職務代理	ボランティアポイントももらえるし。
佐藤委員	職場体験はボランティアじゃないんです。総合の授業なんですけれども、いい経験になりますので。
新井職務代理	中学生も忙しいからなかなか。授業が終わってから児童館に行くという時間も、なかなか取れないかもしれないですけど。
佐藤委員	定期的に行っている子もいるというふうに聞いていますけど。毎日じゃないですけど。健全育成のほうでの行事にもボランティアで参加させていただいておりますので。
橋本会長	新井職務代理は、きょうは、前回、去年のものと比べてくださったりしてくださっているの、いろいろとお気づきもあったと思うのですが、次の集まりは7月になりますが、また可能であれば、去年の議事録などを見ていただきながら、大体どういう話をするのかなということを見ていただくと、発言もしやすいかなと思います。 そのほか、児童館全体のことでどうですか。何かありますでしょうか。中川さんどうぞ。
中川委員	全体のほうでお聞きしたいんですけど、私の友人で、1年生の保護者の方からの声で、児童館というのをどれくらいの人知っているかなというのを、お母さん伝手に、ちょっとお聞きしたんですね。そしたらやっぱり、児童館というものを知らないお母さんというのも結構いまして、児童館で小学校になったら児童館を使って、学校、帰宅したあと、家に戻ってから行ったら遊べるんだよという、そういう場所があるというのと、あと、いろいろなクラブですね。本町児童館で言うと、火曜日クラブ、金曜日クラブとあって、活動ができるよというのを知ってるお母さんがいらっしゃらない方も何名かいて、あと場所すら知らないというお母さんもいたりしたので、学校のほうでプリントはもらうんですけど、ちょっと提案で、入学式とかで、例えばそれぞれの学校で、入学式終了後に、ご紹介するというか、児童館というのがこういうもので、こういうことをしている、よみたいな、アピールとかはできないのかなと思ったんですけども。

	<p>本町小は入学式が終わった後に、すぐに保護者だけを残して、PTAの役員のお話を、ちょっとしたりする時間があるんですね。そういう時間のその前に、ちょこっと時間をもらって、児童館の紹介をするだとかというのが、ほかの学校でもできないのかな、とったりしたんですが、どうなんでしょうと思いました。</p>
橋本会長	<p>ほかの委員の皆さん、いかがでしょうか。布目さん。</p>
布目委員	<p>児童館ではないんですけども、第一小学校の場合は、子供会に最近、入会されるお子さんが少ないということで、小学校の学区内にある子供会の紹介を、「学校だより」の裏面で、学年だよりかな、やっさっているようなんですけども、例えばそういう中に、子供会で児童館を利用することもあると思いますから、子供会なんかのPRと一緒に、例えば児童館、場所は学校からこの辺というふうに分かりやすく、細かい地図まで要らないので、学校からこっちのほうですとかっていうのを、ちょっと学校側に、確かに、児童館から言っただけのものいいですけど、例えば保護者の方から働きかけていただくというもの、それはPTAと同じような感覚で、PTAはちょっと、何か違うんですけど、例えばそういう形で、学校のほうへ要望を出してみるとか、というやり方もあるんじゃないでしょうか。</p>
中川委員	<p>本町小は、私もちょっとPTAの役員に関わったことがあるので、お母様からという、そういう声もあるといえば、紹介するというのは、多分大丈夫だと思うんですけども、ほかの学校ではどうなのかな、と思ったので。</p>
布目委員	<p>ただ第一小学校は学区内に児童館がないので、市内、たぶん興味のある保護者の方は、市報に載っている児童館だよりのコーナーを見て、こういうところがあるみたいだけど、例えば内容によって、お子さんがクッキングが好きだったら、どこかの児童館でやってみるみたいだけど行ってみる？ というお声がけは、たぶん、してらっしゃるだろうと思うんですね。ご自分が送り迎えができればそこへ連れていくなり。まあ、ちょっとあまり遠くのところは難しいかもしれないですけども。でも例えばそういう形で、学校のほうへ保護者から要望を出してみてもいいかな。1年生からそういう声があるのであれば、やっぱり高学年の保護者のほうから、ぜひというふうにお声がけをされてみるというもの、いいかもしれないと思います。</p>
橋本会長	<p>ありがとうございます。 私もお二人のお話を聞いていて、ちょっと思ったことがあるのですが、例えばビデオを誰かがつくってくださって、児童館の1日、あるいは児童館の地域みたいなテーマがあって、2～3分で見れるものが、どこかでアップロードされていけば、お母さんたちはそれを見て、え、こ</p>

	<p>んなのがあるんだ。ピッピッピッと、来るかなと思ったりもします。ボランティアでそういうことをしてくれるお父さんを見つけて、つくってもらえると、うれしいなと思うんですが、他人任せで恐縮ですが、一応これも議事録にとどめておいていただこうと思っています。岩重委員。</p>
岩重委員	<p>今の話で、東小は東児童館、隣なので、みんなが知っている存在ではあるんですけども、入学式とかではなくて、子供会が1年生の最初の保護者会、PTA とかを決めるときに、子供会の人の子供会の紹介をしに来るので、そういうときに、同じように児童館の紹介に来ていただいて、カードのつくり方、そういうようなことを話してもらおうと、やっぱり増えるのかなと。利用者が増えるかなというのがあって、子供会の話をするときに、みんな子供会は面倒くさいのよとか、ここがいいわよという情報交換がその場でされちゃうので、児童館に関してもしっかり同じように、お母さんたちが、ここがいいわよとか、そういう話が出てくると思うので、できればそういうアプローチの仕方として、すごく有効だと思います。</p>
橋本会長	<p>なるほど。ほかに。 まあ、皆さん、だいたい同様な声があるんだろうと思います。どうぞ、佐藤先生。</p>
佐藤委員	<p>1年生向けに児童館の紹介みたいなパンフレットというのは、配られているんですね。全員に。</p>
橋本会長	<p>全校配布ですからね、これは。広報は行ってますよね、かなり。</p>
佐藤委員	<p>児童館はこういうところと。これは今、イベントの紹介ですね。</p>
橋本会長	<p>単なる、一般的な……</p>
佐藤委員	<p>一般的な紹介はどうでしょうか。どこに何があるとか。そういう意味では、場所がたくさん児童館があるわけではないので、限られた子どもしか行けないかもしれませんが、そういう広報はどうでしょうか。</p>
緑児童館（森）	<p>すみません。繰り返しの説明になるかもしれませんが、市内の小学校の児童には、児童館だよりを、毎月、全校全員に配布しております。それから、今1年生の話になりましたが、入学式に配っていただくように、全員分印刷しまして、先生のほうにお願いしております。基本的には保護者の方々の手元に届いて行っていますので、それを一々確認する方法はないのですが、保護者は児童館だより見て、行事申し込みはされているので、一応、行きわたっているのではないかと私たちは考えています。</p> <p>それから児童館には、児童館のパンフレットというのがあります。ある程度の、広報については、やっているつもりなのですが、もし不足だということでしたら、ご意見をいただければと考えています。以上で</p>

	す。
橋本会長	<p>ありがとうございます。プリントの全校配布は、結構みんなも承知しているところなのですが、今出たご意見というのは、そういうことが、子どもが集まっている場で、有効にいけないかという話だったと思いますので、これは先生方の労力を使うことにもなりますので、またできるところからでも、やっていただければ、ご検討できるところから、検討していただければありがたいというふうに、ご意見をお伝えしただけのことで、今日は収さめておいたらいいのかなと思います。よろしいですか。</p> <p>時間がだんだん迫ってきましたので、あと、これだけ言わせてということがあればお願いしたいと思いますが。中川委員。</p>
中川委員	<p>すみません、先ほどの児童館と学童のお話に、ちょっと戻ってしまうんですけれども、いろいろな方からのお話もあって、それを聞いて、私もちょっと不安になったことがあったので、お聞きしたいことがあって、委託というもので、四小の地域の学童さんで、委託をされていて、それが1年で終わられたという話を、やっぱりお母さんからいろいろ聞いて、学童に通わせているお母さん方から聞かれて、それはどうして1年で終わってしまったのかなという、すごく不安な声がすごく多かったので、何かお聞きできればなと思ひまして、ちょっと発言させていただきました。</p>
橋本会長	<p>ありがとうございます。ここは児童館審議会なので、ちょっと学童の問題は、あまり細かく仔細に語る場ではないのでありますが、まあ、行政の方から、何かコメントがあればいただいて結構ですが、ただ、児童館も民間委託にということで、平成19年度から、今の東児童館さんも、法人さんをお願いしていますし、2館目をどうするんだという話もありますし、2館目をするに当たっては、1館目はうまくいっているのか、財政的にどうなのか、民間としての独自性を打ち出すことができているのか、などの検証があつて、2館目という話になると思います。その辺は市長も代わられたことなので、その市長の方針などを受けながら、たぶん、また必要があれば、役所のほうからも来ると思います。</p> <p>ただ、私たちとしては、どういう要請が、行政や政治のほうから、あるいは市民の方から来てもいいように、情報収集をするということは、私たちの権限でできることでして、その点は先ほどもちょっと休憩のときに雑談でお話したことだったので、うまくいった例の視察に行くような機会があれば、皆さんで、あそこへ行けばいいよという例を、紹介していただくということはできますし、別に委託に限らないでも、よその市町村の児童館の例を、視察に行くということは、我々、</p>

	<p>あってもいいのではないかと。そういう勉強会という形で、委員の有志が視察に行くということはできますし、担当課もその折には来てくれるものだと思いますので、それはまた改めてご提案をいただければと思います。何か事務局でご発言があるようでしたらお願いしますし。伏見課長お願いします。</p>
伏見児童青少年課長	<p>先ほどご質問の、話せる部分をお話しさせていただきますが、おっしゃられているのは、四小のさわらび学童保育所の件だと思います。27年4月から、さわらび学童保育所ほか3所につきましては民間委託ということで、学童保育所の委託は始まったところでございますが、今年の3月までで、そちらを受託していた事業者のほうが、通常、委託ですから5年間ということで予定はしてはいたのですが、事業者のご都合により1年間で終わらせていただきたいという申し出が昨年11月末に市にありました。</p> <p>それを受けまして、市としてはそれを受け止めて、引き続き別の業者で民間委託ということを考えておりましたが、市長の出さされていた議案が、議会のほうで議決いただけなかったような状況の中で、来年の4月以降については民間委託は難しいということで、28年度は直営でいくというような形になったところが2月の上旬でのお話でございます。</p> <p>さわらび学童に通われている保護者の方に説明させていただくような形になるのかなと思いますが、現状としてお話しできるのはそこまでかなということでご理解いただきたいと思います。</p>
橋本会長	<p>ありがとうございます。児童館にも関わることで、情報収集をしていただければと思います。ちなみに緑児童館の併設のみどり学童保育所も、4月から、同じ時期に別の法人に運営が委託されています。4所の学童保育所で民間委託が始まったということで、中には残念なことも起きているということですので、我々としては、少なくとも児童館ではそういうことは起きてはならないという、防波堤のような役割が私たちにはあるんだと思いますので、そちらもよろしく、ご研究をお願いいたします。ありがとうございます。岩重委員どうぞ。</p>
岩重委員	<p>不勉強で申しわけないんですけども、教えていただきたいんですが、さわらび学童だけが直営に戻るんですか？</p>
橋本会長	<p>さわらびだけです。</p>
岩重委員	<p>ほかのところは同じ事業者だったんですか。</p>
橋本会長	<p>みどり学童と三小のあかね学童は同じ事業者で、あとは一つ一つ違って、四所を三つの事業者で受けていたみたいです。</p>
岩重委員	<p>事業者さんが違うんですか。わかりました。</p>
橋本会長	<p>よろしいですか。はい、ありがとうございます。</p>

	<p>それでは用意されている議題は済みましたか。そのほかのことで何か、皆様のほうからご意見、ご提案などがありますでしょうか。</p> <p>じゃあ次の会議は7月でありますので、その間、公式の会はありませんが、また皆さんのほうでご提案いただくことがありましたら、季節もよろしいわけですし、お出かけ方々、視察ということ、また勉強になることもあると思いますので、情報交換をして、7月まで熱を冷やさないようにしていただきたいと思います。ではそのほかには。</p>
吉田委員	すみません、ちょっと話していいですか。今、児童館運営審議会は保育を確保されていますよね、保育室。この会のための保育室。
事務局（田中）	はい。
吉田委員	それは毎回ですか。というか、委員で保育を希望されている方がいる？
橋本会長	保育室ですね、別室の。
事務局（田中）	児童館運営審議会につきましては、傍聴の方用ということで2歳児以上を対象に保育室を準備しています。
吉田委員	そういうことなんですね。じゃあ、随時スタンバイされていると。
事務局（田中）	はい。
吉田委員	はい、ありがとうございます。
橋本会長	そうですね。もったいなかったですね、今日は。利用がなかった。
橋本会長	<p>傍聴者にもたくさん来ていただきたい。今日もお越しいただいています。ありがとうございます。傍聴者の皆さんも声かけられて、来ていただければ、保育つきだよということで、傍聴に来てください。よろしくご宣伝ください。ありがとうございました。</p> <p>それでは、だいたい以上で議題が終わりましたので、事務局のほうで、何かご連絡がございましたらお願いをいたします。審議のほうはこれで終了かなと思います。</p> <p>特にありませんか。分かりました。それでは今年度の第3回児童館運営審議会を終了させていただきます。皆さん、お忙しいところありがとうございました。（了）</p>